

調査票記入要領

本調査は、令和6年能登半島地震における災害対応の取組状況を把握することを目的に実施するものです。
単一の部署のみでは回答が難しい質問もございますので、必要に応じて他部署と調整のうえ、ご回答ください。
お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<アンケート調査票の回答の仕方>

- 設問をよく読んで回答してください。
- 薄い黄色のセルが回答欄です。プルダウンから該当する回答を選択してください。

<参考資料>

- 『災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～』 https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_05.pdf
(概要)

【記入例】※赤字部分は回答の一例です。赤字のように記入してください。

(2) 災害対応に携わる者への支援 【発災後から3月末までの期間】

問5 災害対応に携わる貴自治体職員の状況について、把握している範囲で記入してください。

① 子育てや介護に携わっている職員は、災害対応業務を行いましたか。 (該当する番号1つを選択)	1 行った	1	(該当する番号1つを選択)する設問では、プルダウンから該当する番号選択してください。	
	2 行わなかった			
② (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応にあたった職員は、どのようにして育児や介護を行っていましたか。把握している範囲でお答えください。(該当するものすべてに○)	1 保育所や介護施設に預けていた		(該当するものすべてに○)する設問では、該当する選択肢のプルダウンから○を選択してください。	
	2 夫または妻など家族に依頼した	○		
	3 両親や兄弟姉妹、親戚等の親族に依頼した	○		
	4 近隣住民、友人等に依頼した			
	5 避難所での対応に依頼した	○		
	6 こども等と一緒に出勤した			
	7 その他			(具体的に記入してください)
③ (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応業務を行う職員に対し、貴自治体はどのような支援を行いましたか。(該当するものすべてに○)	1 公立保育所等をいち早く再開させた		「その他」を選択した場合には、隣のセルに「(具体的に記入してください)」の文字に上書きする形で、その具体的な内容を記入してください。	
	2 避難所内の一角や庁舎内、事業所の空き部屋等を確保し、託児や介護スペースとして提供した			
	3 こどもやケアが必要な高齢者の一時預かり場所等及び人材を確保した	○		
	4 その他	○		災害対応にあたる職員のレスパイト支援を行った。
	5 特になし			
④ (①で「2. 行わなかった」を選択した場合に回答) 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行わなかった理由は何ですか。(該当するものすべてに○)	1 子育てや介護に携わっている職員がいなかった		(自由記述)の設問では、その内容を具体的に記入してください。	
	2 子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらないよう、あらかじめ取り決めていた			
	3 本人から希望があり、災害対応業務を免除した			
	4 本人からの希望等はなかったが、災害対応の状況等を踏まえて、子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらなくても良いように配慮した			
	5 その他			(具体的に記入してください)
⑤ 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行うにあたり、現在検討中の取組等があれば具体的に教えてください。(自由記述)	庁舎の一角を確保し、託児スペースの設置を検討している。			

<ご回答にあたっての注意事項>

- Excelの列・行は増やしたり、減らしたりしないでください。
- 自由記述等でセルのスペースが足りない場合は、セルの高さを拡大して記述してください。

<提出方法>

調査票 (Excel) に回答のうえ、Eメールにて調査会社 (danjyo@scraft.co.jp) へお送りください。

<提出期限>

令和6年11月29日(金)までとさせていただきます。

<問い合わせ先>

<調査票の返送先及び問い合わせ先>

株式会社サイエンスクラフト 担当：小田原、竹本
東京都千代田区六番町13-7 中島ビル 2F
TEL：03-6272-4372 FAX：03-6272-4373
Eメール：danjyo@scraft.co.jp

<調査主体>

内閣府 男女共同参画局総務課 担当：藤田、渋谷
電話番号03-5253-2111 (代表) 内線82352
03-3581-6005 (直通)

アンケート調査票①被災自治体

回答者について				
回答者情報	1人目 ※事務局からの問合せが発生した場合、1人目に記入されている方にご連絡します。	都道府県名		(具体的に記入してください)
		市区町村名		(具体的に記入してください)
		回答者の所属		(具体的に記入してください)
		回答者の氏名		(具体的に記入してください)
	2人目	回答者の電話番号		(具体的に記入してください)
		回答者のメールアドレス		(具体的に記入してください)
		回答者の所属		(具体的に記入してください)
		回答者の氏名		(具体的に記入してください)
	回答者の電話番号		(具体的に記入してください)	
	回答者のメールアドレス		(具体的に記入してください)	

1. 事前の体制				
(1) 職員の体制				
問1～2は、石川県輪島市、穴水町、能登町のみ回答してください。				
※上記以外の自治体はすでに『ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査（令和5年）』でご回答いただいている内容ですので、問3から回答してください。 (令和5年度調査) https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/chousa_r05.html				
問1 令和5年12月31日時点の防災・危機管理担当部署の職員体制について教えてください。				
【防災・危機管理担当部署】				
	部局名		(具体的に記入してください)	
	課室名		(具体的に記入してください)	
	職員数 ※以下の留意点に関して、計上しない職員については総数からも除いてください。 ・本調査で対象としている職員は、各地方公共団体で採用され、かつ、定員となっている職員です。 ・国家公務員である県警本部長や一部の警察署長などの地方警務官及び特定地方警務官は調査対象外ですが、国などから出向し、現在各地方公共団体の定員に含まれている職員は調査対象です。 ・非常勤職員（会計年度任用職員を含む）及び再任用職員は本調査の調査対象外となります。 ・支庁・地方事務所、警察関係、教育委員会、消防担当（消防本部や消防署の職員を含む）の職員は調査対象外です。 ・他局（課）の業務と兼務や併任の場合、本務が防災・災害対策を担当する職員の人数のみを計上してください。	総数		0.0%
		うち女性		
(2) 地方防災会議				
問2 令和5年12月31日時点の地方防災会議の状況について教えてください。				
① 委員の人数	総数		0.0%	
	女性			

Ⅱ. 発災後の対応（発災後から3月末まで） ※これ以降の設問は、指定がない限りすべての自治体が回答してください。

(1) 本庁の体制【発災後から3月末までの期間】

問3 災害対策本部会議の状況について教えてください。

① 令和6年能登半島地震の際に災害対策本部会議を設置しましたか。（該当する番号1つを選択）	1 設置した	
	2 設置しなかった	
② <u>（①で「1. 設置した」を選択した場合に回答）</u> 会議の構成員の数（最大時）【常勤】※本部長も含む	総数	
	男性	
	女性	

0.0%

0.0%

問4 男女共同参画担当部局の活動状況について教えてください。（該当する番号1つを選択）

① 男女共同参画の視点から災害対応を行うよう、全庁や関係機関等に要請しましたか。	1 要請した	
	2 要請しなかった	
<u>（①で「1. 要請した」を選択した場合に回答）</u> 要請を行った時期はいつですか。（該当するものすべてに○）	1 発災後～1/7まで	
	2 1/8～1/31まで	
	3 2/1～3/31まで	
② 避難所等において、男女共同参画の視点から災害対応が行なわれているか、その実態を把握しましたか。	1 把握した	
	2 把握しなかった	
<u>（②で「1. 把握した」を選択した場合に回答）</u> 把握を行った時期はいつですか。（該当するものすべてに○）	1 発災後～1/7まで	
	2 1/8～1/31まで	
	3 2/1～3/31まで	
③ <u>（②で「把握した」を選択した場合に回答）</u> ②で把握した男女共同参画の視点からの問題について、改善するための取組を行いましたか。	1 行った	
	2 行わなかった	
<u>（③で「1. 行った」を選択した場合に回答）</u> 改善を行った時期はいつですか。（該当するものすべてに○）	1 発災後～1/7まで	
	2 1/8～1/31まで	
	3 2/1～3/31まで	

(2) 災害対応に携わる者への支援【発災後から3月末までの期間】

問5 災害対応に携わる貴自治体職員の状況について、把握している範囲で記入してください。

① 子育てや介護に携わっている職員（男女共に）は、災害対応業務を行いましたか。（該当する番号1つを選択）	1 行った			
	2 行わなかった			
② <u>「①で「1. 行った」を選択した場合に回答」</u> 災害対応にあたった職員は、どのようにして育児や介護を行っていましたか。把握している範囲でお答えください。（該当するものすべてに○）	1 保育所や介護施設に預けていた			
	2 夫または妻など家族に依頼した			
	3 両親や兄弟姉妹、親戚等の親族に依頼した			
	4 近隣住民、友人等に依頼した			
	5 避難所での対応に依頼した			
	6 こども等と一緒に出勤した			
	7 その他（具体的に記入してください）			（具体的に記入してください）
③ <u>「①で「1. 行った」を選択した場合に回答」</u> 災害対応業務を行う職員に対し、貴自治体はどのような支援を行いましたか。（該当するものすべてに○）	1 公立保育所等をいち早く再開させ、職員の子供を受け入れた			
	2 避難所内の一角や庁舎内、事業所の空き部屋等を確保し、託児や介護スペースとして提供した			
	3 こどもやケアが必要な高齢者の一時預かり場所等及び人材を確保した			
	4 その他（具体的に記入してください）			（具体的に記入してください）
	5 特になし			
④ <u>「①で「2. 行わなかった」を選択した場合に回答」</u> 子育てや介護に携わっている職員（男女共に）が災害対応業務を行わなかった理由は何ですか。（該当するものすべてに○）	1 子育てや介護に携わっている職員がいなかった			
	2 子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらないよう、あらかじめ取り決めていた			
	3 本人から希望があり、災害対応業務を免除した			
	4 本人からの希望等はなかったが、災害対応の状況等を踏まえて、子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらなくても良いように配慮した			
	5 その他（具体的に記入してください）			（具体的に記入してください）
⑤ 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行うにあたり、現在検討中の取組等があれば具体的に教えてください。（自由記述）			（具体的に記入してください）	

問6 貴自治体職員が避難所や庁舎に宿直等して災害対応業務を行った際の対応状況について教えてください。

① 職員が宿直しましたか。（該当するものすべてに○）	1 庁舎		
	2 避難所		
	3 その他		
	4 無		
② <u>「①で「1～3の1つ以上に○」を選択した場合に回答」</u> うち女性職員が宿直しましたか。（該当するものすべてに○）	1 庁舎		
	2 避難所		
	3 その他		
	4 無		
③ <u>「②で「1～3の1つ以上に○」を選択した場合に回答」</u> 女性職員が宿直等を安全・安心に行える環境を整備していましたか。（該当する番号1つを選択）	1 整備していた		
	2 整備していなかった		
④ <u>「③で「1. 整備していた」を選択した場合に回答」</u> 具体的にどのような環境整備を行いましたか。（該当するものすべてに○）	1 男女別の宿泊室を整備した		
	2 男女別のシャワー室を整備した		
	3 セクハラや性暴力被害等の相談環境、通報体制を整理した		
	4 その他（具体的に記入してください）		

(3) 応援職員の受入れ【発災後から3月末までの期間】

問7 貴自治体における応援職員の受入れ状況について教えてください

① 他自治体から応援職員を受け入れましたか。（発災後から3月末までの間）	1 受け入れた	
	2 受け入れなかった	
② <u>（①で「1. 受け入れた」を選択した場合に回答）</u> そのうち、女性職員を受け入れましたか。（発災後から3月末までの間）	1 受け入れた	
	2 受け入れなかった	

問8 どの業務に応援職員を配置しましたか。（該当するものすべてに○）

1 災害マネジメント（災害対策本部への助言・調整等の業務）		
2 避難所運営		
3 支援物資にかかる業務		
4 災害廃棄物の処理		
5 住家の被害認定調査、罹災証明書の交付		
6 被災者支援・相談業務		
7 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

問9 応援職員の活動において、男女共同参画の視点を反映させるために行った取組はありますか。（該当するものすべてに○）

1 女性の応援職員や男女共同参画担当部署の職員の派遣を要請した。		
2 女性の応援職員や男女共同参画担当部署の職員を支援現場に配置するよう依頼した		
3 応援職員に対して、避難所運営など被災者対応を行う際、男女共同参画の視点を考慮して対応するよう要請した		
4 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

問10 （問7②で「1. 受け入れた」を選択した場合に回答） 女性応援職員が安全・安心に活動するための配慮や工夫等をしましたか。（該当するものすべてに○）

1 男女別の宿泊環境を整備した		
2 男女別のトイレを整備した		
3 警察と連携する等、防犯対策を行った		
4 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

(4) 避難所の開設【発災後から3月末までの期間】

問11 令和6年能登半島地震で開設した避難所数（最大時）と実際の運営の担い手について記入してください。

① 指定一般避難所の開設数（令和5年12月31日の時点で既に指定されていた避難所のうち開設した避難所の数）			
指定一般避難所（一般住民対象）（該当する番号1つを選択）	1 有		
	2 無		
この避難所の運営の主な担い手（該当するものすべてに○）	1 市町村職員（応援職員含む）		
	2 施設管理者		
	3 住民		
	4 その他（民間支援団体等）（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
② 指定母子避難所（母子、妊産婦、新生児、乳幼児対象）、女性専用避難所（該当する番号1つを選択）	1 有		
	2 無		
この避難所の運営の主な担い手（該当するものすべてに○）	1 市町村職員（応援職員含む）		
	2 施設管理者		
	3 住民		
	4 その他（民間支援団体等）（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
③ 指定福祉避難所（要配慮者（高齢者、障害者等）対象）（該当する番号1つを選択）	1 有		
	2 無		
この避難所の運営の主な担い手（該当するものすべてに○）	1 市町村職員（応援職員含む）		
	2 施設管理者		
	3 住民		
	4 その他（民間支援団体等）（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

④ <u>（県のみが回答）</u> 1.5次避難所を開設しましたか。（2次避難所に移動する前段階で避難する施設）	1 開設した		
	2 開設しなかった		
	この避難所の運営の主な担い手（該当するものすべてに○）	1 県職員（応援職員含む）	
		2 施設管理者	
⑤ 上記①～④以外で、地震発生後、新たに指定した避難所がありますか。（該当するものすべてに○）		3 住民	
		4 その他（民間支援団体等）（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）
	1 一般避難所（一般住民対象）		
	2 母子避難所（母子、妊産婦、新生児、乳幼児対象）、女性専用避難所		
	3 福祉避難所（要配慮者（高齢者、障害者等）対象）		
	4 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

（5）避難所の運営管理【発災後から3月末までの期間】

問12 能登半島地震発生後に内閣府男女共同参画局が発出した通知（男女共同参画の視点からのガイドライン及び避難所チェックシートの活用依頼）への対応状況を教えてください。
（通知）<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/pdf/240101.pdf>

① 通知を受け取りましたか。（該当する番号1つを選択）	1 受け取った		
	2 受け取っていない		
② <u>（①で「1. 受け取った」を選択した場合に回答）</u> どのように通知を受け取り、ガイドライン等について認識しましたか。（該当する番号1つを選択）	1 国からの情報提供		
	2 県からの情報提供		
	3 応援自治体からの情報提供		
	4 民間支援団体等からの情報提供		
	5 通知は認識していなかったが、以前からガイドラインやチェックシートを認識していた		
	6 通知、ガイドラインやチェックシートについて認識していなかった		
③ <u>（②の1～5のいずれかを選択した場合に回答）</u> 通知等を認識したうえで、どのように対応しましたか。（該当するものすべてに○）	1 災害対策本部に通知の情報を提供した		
	2 避難所運営の担当職員にガイドラインやチェックシートを配布した		
	3 応援職員に通知の情報を周知した		
	4 各避難所等にガイドラインやチェックシートを配布・掲示した		
	5 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
	6 特に対応しなかった		

問13 貴自治体が開設した避難所では、男女共同参画の視点を考慮した各取組が、いつから開始されたと認識していますか。1か所でもあればその時期を回答してください。

【避難所のスペース】

（該当する番号1つを選択）

① 授乳室の設置	1 1週間以内		
	2 1か月以内		
	3 1か月目以降		
	4 時期不明		
	5 無		
	6 実施状況を把握していない		
② 男女別更衣室の設置	1 1週間以内		
	2 1か月以内		
	3 1か月目以降		
	4 時期不明		
	5 無		
	6 実施状況を把握していない		
③ 間仕切り・パーテーションによるプライバシーの確保（感染症対策目的ではない）	1 1週間以内		
	2 1か月以内		
	3 1か月目以降		
	4 時期不明		
	5 無		
	6 実施状況を把握していない		

④ 乳幼児のいる家庭用エリアの確保	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑤ 単身女性や女性のための世帯用エリアの確保	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑥ 女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）の確保	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑦ キッズスペース（こどもたちの遊び場・勉強・情報提供）や保育エリアの確保	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑧ 男女別トイレを離れた位置に設置	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑨ 女性のトイレを男性よりも多めに設置	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑩ トイレの個室内や、トイレまでの経路等の夜間照明の確保	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑪ 女性専用の物干し場の確保	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	

【避難所の運営体制・運営ルール】		(該当する番号1つを選択)	
⑫ 管理責任者に男女両方を配置	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑬ 固定的役割分担に基づく運営とならないような分担	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑭ 相談室や意見箱の設置等、女性や子ども、子育て・介護中の家庭からの要望・困りごとを受ける体制整備	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑮ 避難者名簿の情報管理の徹底（※配偶者等からの暴力（DV）被害者への配慮を目的とした情報の開示/不開示の可否等）	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
【暴力防止・安全の確保】		(該当する番号1つを選択)	
⑯ 男女一緒に行う防犯のための避難所内の巡回警備、就寝場所や女性専用スペース等への巡回警備	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑰ 性暴力・DV防止の啓発ポスターの掲示、相談カードの設置等	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑱ 防犯ブザーやホイッスルの配布	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	
⑲ 犯罪が起きにくくなるようなレイアウトへの配慮	1	1週間以内	
	2	1か月以内	
	3	1か月目以降	
	4	時期不明	
	5	無	
	6	実施状況を把握していない	

【その他】 (該当する番号1つを選択)		
㊸ 上記の取組以外に、避難所における男女共同参画の視点を考慮した取組があれば、具体的に記入してください。	具体的に記入してください。	(具体的に記入してください)
㊹ 上記取組の実施時期	1 1週間以内	
	2 1か月以内	
	3 1か月目以降	
	4 時期不明	

問14 (問13のいずれか1つでも「1. 1週間以内」または「2. 1か月以内」を選択した項目がある場合に回答) その取組がその期間に実施できた理由は何だとお考えですか。(該当するものすべてに○)

1	地域防災計画、防災マニュアル等に規定してある通りに取り組んだ	
2	避難住民のニーズなどを聞き取って取り組んだ	
3	国から情報提供されたガイドラインやチェックシートに基づいて取り組んだ	
4	県から情報提供された国のガイドラインやチェックシートに基づいて取り組んだ	
5	自治体の災害対策本部等から指摘があった	
6	自治体内部の職員の議論で意見があり取り組んだ	
7	応援自治体職員のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
8	貴自治体内の女性団体を始めとする市民団体のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
9	県・市町村の社会福祉協議会のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
10	ボランティアやNPO等の民間支援団体のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
11	民間企業に協力してもらった	
12	貴自治体内の地域の学生等の若年層に協力してもらった	
13	貴自治体内の防災士や、地域の女性リーダーに協力してもらった	
14	支援物資等が届いたり、避難所を集約したことなどにより、取り組めるようになった	
15	必要な費用のねん出に目途が立った	
16	課題の優先順位として高かった	
17	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)

問15 (問13のいずれか1つでも「3. 1か月目以降」または「4. 時期不明」を選択した項目がある場合に回答) その取組がこの時期になった理由は何だとお考えですか。(該当するものすべてに○)

1	男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を十分に認識していなかった	
2	他に優先順位の高い課題が多くあり、人員の確保が遅れた	
3	貴自治体で作成または使っている災害対応マニュアル等に記載されていなかった	
4	支援物資等の到着が遅れた	
5	必要な費用ねん出の目途が立つのに時間がかかった	
6	避難住民のニーズの把握が遅れたため、必要性に気づけなかった	
7	発災直後は避難者が多く、開設当初は取組めなかった(避難住民の減少や避難所の集約などを機にできるようになった)	
8	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)

問16 (問13のいずれか1つでも「5. 無」を選択した項目がある場合に回答) その取組ができなかった理由は何だとお考えですか。(該当するものすべてに○)

1	男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を十分に認識していなかった	
2	他に優先順位の高い課題が多くあり、人員を確保できなかった	
3	貴自治体で作成または使っている災害対応マニュアル等に記載されていなかった	
4	支援物資等の到着が遅れた	
5	必要な費用ねん出の目途が立たなかった	
6	避難住民のニーズを把握しておらず、必要性に気づけなかった	
7	発災直後は避難者が多く、開設当初は取組めなかった	
8	ガイドラインやチェックシート等の情報が国や県から提供がされなかった(されていても認識していなかった)	
9	貴自治体の災害対策本部等から指摘がなかった	
10	応援自治体からのサポートや指摘がなかった	
11	ボランティアやNPO等の民間支援団体からのサポートや指摘がなかった	
12	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)

問17 (問13のいずれか1つでも「6. 実施状況を把握していない」を選択した項目がある場合に回答) 取組状況がわからない理由は何だとお考えですか。(該当するものすべてに○)

1	男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を十分に認識していなかった	
2	他に優先順位の高い課題が多くあり、人員を確保できなかった	
3	貴自治体で作成または使っている災害対応マニュアル等に記載されていなかった	
4	ガイドラインやチェックシート等の情報が国や県から提供がされなかった(されていても認識していなかった)	
5	貴自治体の災害対策本部等から指摘がなかった	
6	応援自治体からのサポートや指摘がなかった	
7	ボランティアやNPO等の民間支援団体からのサポートや指摘がなかった	
8	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)

問18 開設した指定避難所における、育児、介護、女性等の多様なニーズに対する対応状況について教えてください。

① 開設した指定避難所では、育児、介護、女性等の多様なニーズをどのように把握しましたか。(該当するものすべてに○)	1	避難所の担当職員や避難所の運営体制に女性を配置した	
	2	保育士、介護士、看護師、保健師など専門職員を配置した	
	3	担当を決め、ニーズの聞き取りを行った	
	4	ニーズ調査を行う際に、同性が調査を行うように配慮した	
	5	自衛隊や警察、消防隊等の公的支援者と連携した	
	6	貴自治体内の男女共同参画センターと連携した	
	7	貴自治体内の女性団体を始めとする市民団体と連携した	
	8	県や市町村の社会福祉協議会と連携した	
	9	ボランティアやNPO等の民間支援団体に依頼した	
	10	民間企業と連携した	
	11	貴自治体内の地域の学生等の若年層に協力してもらった	
	12	貴自治体内の地域の防災士と連携した	
	13	貴自治体内の地域の女性リーダーに協力してもらった	
	14	ノウハウを有する応援職員を担当とするようにした	
	15	地元をよく知る市町村職員が担当するようにした	
	16	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)
② (①で「1～16」のいずれかを選択した場合に回答) 育児、介護、女性等の多様なニーズを把握したうえで、どのような対応を行いましたか。具体的に教えてください。(自由記述)	17	特に行っていない	
			(具体的に記入してください)

問19 その他、開設した指定避難所について、男女共同参画の視点に立って取り組むにあたり困ったことや難しかったことはありますか。具体的に記入してください。(例：住民の理解が得られなかった等)

(具体的に記入してください)

問20 臨時的に立ち上がった指定外の避難所で、男女共同参画の視点を考慮して取組を行った避難所（好事例）と、男女共同参画の視点で問題が発生した避難所について、具体的に記入してください。

① 指定外避難所で実施した男女共同参画の視点からの取組・工夫等（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
② 指定外避難所で発生した男女共同参画の視点上の問題（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

（6）物資の供給【発災後から3月末までの期間】

問21 育児、介護、女性用品等の物資に対するニーズの把握や調達・配布の際に、何か工夫しましたか。（該当するものすべてに○）

1 市民団体等と連携して女性ニーズの調査を行った		
2 女性の声を拾うための意見箱を設置した		
3 物資調達・輸送調整等支援システムを利用して女性用品、乳幼児用品等を調達した		
4 女性用品を配布する際は、女性が配布を担当した		
5 女性トイレや女性専用スペースに、女性用品を常備した		
6 自衛隊等からの希望調査の際に女性が回答することとした		
7 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

問22 能登半島地震発災後の物資のニーズ及び備蓄の状況について

【*発災時の備蓄の有無】は、石川県輪島市、穴水町、能登町のみ回答してください。

※上記以外の自治体はすでに『ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査（令和5年）』でご回答いただいている内容ですので、「*発災時の備蓄の有無」以外の間に回答してください。

（令和5年度調査）https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/chousa_r05.html

	すべての自治体が回答				石川県輪島市、穴水町、能登町のみ回答
	発災後のニーズの有無 （該当する番号1つを選択）	物資の充足度 （該当する番号1つを選択）	県の備蓄・応援物資で対応 （上記で対応した項目すべてに○）	国の備蓄・応援物資で対応 （上記で対応した項目すべてに○）	*発災時の備蓄の有無 （備蓄があった項目すべてに○）
【女性用品】					
生理用ナプキン（普通、長時間向け等）					
サニタリーショーツ					
おりものライナー					
防犯ブザー/ホイッスル					
女性用下着（各種サイズ）					
【乳幼児用品】					
粉ミルク（アレルギー用含む）					
液体ミルク					
乳幼児用飲料水・軟水					
哺乳瓶					
消毒剤					
離乳食（アレルギー対応食を含む）					
乳幼児用紙おむつ（各種サイズ、女児用、男児用）					
おしりふき					
【介護用品】					
大人用紙おむつ（各種サイズ、女性用、男性用）					
尿取りパッド（女性用、男性用）					
おしりふき					
介護食（おかゆ、とろみ食、とろみ剤）					
簡易・据置式様式トイレ					
【共通】					
中身の见えないゴミ袋（生理用品、おむつ用等）					
スプーン・フォーク（外国人、介護用等）					
ブライバシーが十分に保護される簡易間仕切り・パーテーション					
段ボールベッド					
その他（上記以外に、女性の視点で必要だった物資があれば具体的に記入してください）					
その他（上記以外に、女性の視点で必要だった物資があれば具体的に記入してください）					
その他（上記以外に、女性の視点で必要だった物資があれば具体的に記入してください）					

（7）在宅避難【発災後から3月末までの期間】

問23 在宅避難者に対して、男女共同参画の視点から行った取組はありますか。（該当するものすべてに○）

1	在宅避難者についても名簿を登録した		
2	在宅避難者の男女別にニーズ等を把握した		
3	在宅避難者に対し、男女のニーズに特化した必要な支援物資を提供した		
4	在宅避難者に対し、男女のニーズに特化した必要な情報を提供した		
5	在宅避難者に対し、防犯対策を行った（夜間パトロール等）		
6	在宅避難の妊産婦や乳幼児等に対する保健衛生・栄養管理のための対策を行った（相談対応等）		
7	その他		（具体的に記入してください）
8	特にない		
9	把握していない		

問24 （問23で「1～7のうち一つ以上○を選択」した場合に回答）在宅避難者に対して、なぜ男女共同参画の視点からの取組を実施できましたか。（該当するものすべてに○）

1	地域防災計画、防災マニュアル等に規定してある通りに取り組んだ		
2	平常時に実施していた研修の内容を踏まえて取り組んだ		
3	国から情報提供されたガイドラインやチェックシートに基づいて取り組んだ		
4	県から情報提供された国のガイドラインやチェックシートに基づいて取り組んだ		
5	避難所以外の避難者のニーズを把握する体制を整備していた		
6	貴自治体の災害対策本部等から指摘があった		
7	貴自治体内部の職員の議論で意見があり取り組んだ		
8	応援職員のサポートや指摘を受けて取り組んだ		
9	消防団や警察官等の公的支援者に協力してもらった		
10	貴自治体内の女性団体を始めとする市民団体のサポートや指摘を受けて取り組んだ		
11	県・市町村の社会福祉協議会のサポートや指摘を受けて取り組んだ		
12	医療支援や衛生管理・健康管理、福祉的支援等の専門職に協力してもらった		
13	その他		（具体的に記入してください）

（8）車中泊避難【発災後から3月末までの期間】

問25 車中泊避難者はいましたか。

1	いた	
2	いなかった	
3	把握していない	

問26 （問25で「1. いた」を選択した場合に回答）車中泊避難者に対して、男女共同参画の視点から行った取組はありますか。（該当するものすべてに○）

1	車中泊避難者についても名簿を登録した		
2	車中泊避難者の男女別にニーズ等を把握した		
3	車中泊避難者に対し、男女のニーズに特化した必要な支援物資を提供した		
4	車中泊避難者に対し、男女のニーズに特化した必要な情報を提供した		
5	車中泊避難者に対し、防犯対策を行った（夜間パトロール等）		
6	車中泊避難の妊産婦や乳幼児等に対する保健衛生・栄養管理のための対策を行った（相談対応等）		
7	その他		（具体的に記入してください）
8	特にない		

問27 (問26で「1～7のうち一つ以上○を選択」した場合に回答) 車中泊避難者に対して、なぜ男女共同参画の視点からの取組を実施できましたか。(該当するものすべてに○)

1	地域防災計画、防災マニュアル等に規定してある通りに取り組んだ	
2	平常時に実施していた研修の内容を踏まえて取り組んだ	
3	国から情報提供されたガイドラインやチェックシートに基づいて取り組んだ	
4	県から情報提供された国のガイドラインやチェックシートに基づいて取り組んだ	
5	避難所以外の避難者のニーズを把握する体制を整備していた	
6	自治体の災害対策本部等から指摘があった	
7	自治体内部の職員の議論で意見があり取り組んだ	
8	応援職員のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
9	消防団や警察官等の公的支援者に協力してもらった	
10	自治体内の女性団体を始めとする市民団体のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
11	県・市町村の社会福祉協議会のサポートや指摘を受けて取り組んだ	
12	医療支援や衛生管理・健康管理、福祉的支援等の専門職に協力してもらった	
13	その他	(具体的に記入してください)

III. 応急仮設住宅での対応

問28 応急仮設住宅（みなし仮設も含む）では、男女共同参画の視点からどのような取組を行っていますか（該当するものすべてに○）

1	応急仮設住宅の計画・設計の段階における、意思決定の場への女性参画促進	
2	誰もが使いやすいバリアフリー仕様の設計（通路、玄関等の段差解消、手すりの設置等）	
3	応急仮設住宅の敷地内での死角や暗い場所への対応など安全への配慮	
4	引きこもりや孤立を引き起こさないための住民同士の交流の場の設置	
5	応急仮設住宅の入居者選定时、乳幼児のいる家庭、単身女性やひとり親世帯等の入居先や優先度の配慮	
6	管理人への男女両方の設置	
7	応急仮設住宅等における自治会等の育成及び役員への女性の参画の確保（女性の割合は少なくとも3割以上を目標とする）	
8	きめ細やかな支援に活用できる入居者名簿の作成及び情報管理の徹底	
9	保健師等の専門職や生活支援員等による入居者の状態把握及び専門的支援の提供（同性によるニーズの聞き取り、男女ベアのスタッフによる訪問を基本とする）	
10	生活上の不具合や不便を聞くための戸別訪問	
11	悩み等を相談する窓口、専用電話等の設置	
12	広報誌等による男女のニーズに配慮した定期的な情報提供	
13	その他（具体的に記入してください）	(具体的に記入してください)
14	特になし	

IV. 復興への対応

(1) 復興対策本部

問29 復興対策本部の状況について教えてください。

① 令和6年能登半島地震の復興対策本部を設置しましたか。（該当する番号1つを選択）	1 設置した		
	2 設置していない		
② 復興対策本部会議の構成員の数【常勤】 ※代表者も含む	総数		
	男性		0.0%
	女性		0.0%

(2) 復興計画の作成

問30 復興計画の策定状況について教えてください。（該当する番号1つを選択）

1 策定済み	
2 策定中	
3 今後、策定する予定がある	
4 現時点では策定の予定はない	

問31 (問30で「1. 策定済み」、「2. 策定中」のいずれかを選択した場合に回答) 貴自治体の復興計画の策定に向けた委員会等の男女別構成について記入してください。

① 委員会等の名称		(具体的に記入してください)
② 委員の人数（オブザーバーは除く）	総数	
	男性	0.0%
	女性	0.0%
③ 女性委員が1名以上いる場合は、女性委員の選出区分（該当するものすべてに○）	1 指定した団体から選出された者（例：婦人会、商工会、社会福祉協議会等）	
	2 医療・福祉・保育等の専門職（例：医師、看護師、保健師、助産師、保育士等）	
	3 住んでいる地区から選出された者（例：地区代表等）	
	4 公募により選出された者	
	5 有識者として選出された者（例：学識経験者、企業経営者等）	
	6 行政関係者	
	7 その他（具体的に記入してください）	(具体的に記入してください)

問32 (問30で「1. 策定済み」、「2. 策定中」のいずれかを選択した場合に回答) 復興計画の中に男女共同参画の視点を反映させるために、どのような工夫をしましたか。（該当するものすべてに○）

1 計画策定委員に女性委員を3割以上任命した	
2 男女同数程度で住民アンケートをとった	
3 男女共同参画の視点から支援を行う団体等にヒアリングを行った	
4 住民参加型ワークショップや意見交換会等に女性が3割以上参加するよう働きかけた	
5 女性が参加しやすいよう託児所を設置する等の環境を整備した	
6 パブリックコメントを活用し、多様な意見を反映した	
7 その他（具体的に記入してください）	(具体的に記入してください)
8 特にない	

問33 (問30で「1. 策定済み」、「2. 策定中」のいずれかを選択した場合に回答) 復興計画には、男女共同参画の視点からどのような取組や工夫が反映されていますか。（又は、見込みですか）（該当するものすべてに○）

1 女性の地域防災リーダーを育成すること	
2 女性が抱える不安・悩みの相談に対応する女性相談員を仮設住宅などに派遣すること	
3 支援活動に対応する人員を検討する際、性別によって役割を限定するような内容とせず、性別による不利益が生じないようにすること	
4 保健・医療・福祉・教育振興の取組に子育て世代の声を反映させること	
5 あらゆる場に女性が参画すること	
6 その他（具体的に記入してください）	(具体的に記入してください)
7 特にない	

問34 復興計画推進委員会など、貴自治体の策定した（する）復興計画を各地域で推進するための委員会等の設置状況について

① 推進委員会等を設置しましたか。（該当する番号1つを選択）	1 設置した		
	2 設置していない		
② <u>（①で「1. 設置した」を選択した場合に回答）</u> ①で設置した委員会等の構成員数 ※代表者も含む	総数		
	男性		0.0%
	女性		0.0%

（3）被災者の生活再建支援等

問35 被災者の生活再建のために、男女共同参画の視点からみて、どのようなことが課題であるとお考えですか（該当するものすべてに○）

	1 災害復興住宅の整備などの住まいづくりにおける、女性の意見の反映		
	2 配偶者等からの暴力（DV）の被害者等が世帯主と別居し、住民票を有しないまま居住していた場合の被災認定が困難である		
	3 応急仮設住宅や復興住宅等での孤立や活力の低下		
	4 生業や就労の回復に、男性よりも女性の方が時間がかかりやすい		
	5 平時以上に仕事と育児等との両立が困難になる		
	6 二次避難する家族のケアのため一緒に避難せざるを得ず、職場復帰が遅れたなど、家族のケア等の負担がかかる		
	7 災害直後は、女性の希望する仕事と求人の多い仕事にミスマッチが起こりやすい		
	8 生活再建支援に携わる関係者に男女共同参画の視点を持っている者が少ない		
	9 相談窓口の設置等についての周知がいきわたっていない		
	10 その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
上記で回答した課題に対応するために取り組んでいること（該当するものすべてに○）	1 住宅の整備にあたっては女性からの意見を聞く機会を設けている		
	2 住民票がなくても居住の事実が確認されれば被災者生活再建支援金の支給対象であることを職員等に共有し、適切な対応に努めている		
	3 女性と男性の双方の支援員等が応急仮設住宅や復興住宅等への巡回訪問を行っている		
	4 緊急雇用対策事業等、臨時的な雇用創出策を講じる場合には女性の雇用機会も確保している		
	5 こどもや介護を必要とする高齢者の預け先を確保している		
	6 個々のニーズに応じたマッチング支援や就労相談を実施している		
	7 資金提供やノウハウ面のサポートにおいて女性を含む起業支援策を講じている		
	8 生活再建支援に携わる関係者に対して男女共同参画の視点からの災害対応に関する研修を実施している		
	9 男女共同参画センターや民間支援団体等と連携して、情報提供や相談対応を実施している		
	10 配偶者等からの暴力（DV）や性犯罪・性暴力等の予防に関する啓発や相談対応等を気軽に利用できるよう工夫している		
	11 相談窓口で男性が相談しやすいよう工夫している		
	12 その他		（具体的に記入してください）
	13 特になし		

V. 関係団体との連携

問36 以下の課題に対応するにあたり、どのような団体と連携しましたか。（該当するものすべてに○）

① 女性の支援ニーズへの対応	1	所管の都道府県		
	2	県内の政令市		
	3	近隣市町村		
	4	1～3以外の地方公共団体		
	5	警察		
	6	消防		
	7	自衛隊		
	8	男女共同参画センター		
	9	配偶者暴力相談支援センター		
	10	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ相談支援センター		
	11	ボランティア中間支援組織		
	12	NPO等民間支援団体（法人）		
	13	ボランティア団体（任意）		
	14	ボランティア（個人）		
	15	社会福祉協議会		
	16	女性団体等の市民団体（自治体内）		
	17	企業・経済団体		
	18	弁護士・司法書士等		
	19	病院・診療所・医師会等		
	20	保育所・幼稚園		
	21	小学校		
	22	中学校		
	23	高等学校・専門学校・大学等		
	24	介護施設・介護支援事業所・障害者施設等		
	25	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
	26	連携していない		

② 母子支援	1	所管の都道府県		
	2	県内の政令市		
	3	近隣市町村		
	4	1～3以外の地方公共団体		
	5	警察		
	6	消防		
	7	自衛隊		
	8	男女共同参画センター		
	9	配偶者暴力相談支援センター		
	10	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ相談支援センター		
	11	ボランティア中間支援組織		
	12	NPO等民間支援団体（法人）		
	13	ボランティア団体（任意）		
	14	ボランティア（個人）		
	15	社会福祉協議会		
	16	女性団体等の市民団体（自治体内）		
	17	企業・経済団体		
	18	弁護士・司法書士等		
	19	病院・診療所・医師会等		
	20	保育所・幼稚園		
	21	小学校		
	22	中学校		
	23	高等学校・専門学校・大学等		
	24	介護施設・介護支援事業所・障害者施設等		
	25	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
	26	連携していない		

③ DV・虐待の防止・相談対応等	1	所管の都道府県	
	2	県内の政令市	
	3	近隣市町村	
	4	1～3以外の地方公共団体	
	5	警察	
	6	消防	
	7	自衛隊	
	8	男女共同参画センター	
	9	配偶者暴力相談支援センター	
	10	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ相談支援センター	
	11	ボランティア中間支援組織	
	12	NPO等民間支援団体（法人）	
	13	ボランティア団体（任意）	
	14	ボランティア（個人）	
	15	社会福祉協議会	
	16	女性団体等の市民団体（自治体内）	
	17	企業・経済団体	
	18	弁護士・司法書士等	
	19	病院・診療所・医師会等	
	20	保育所・幼稚園	
	21	小学校	
	22	中学校	
	23	高等学校・専門学校・大学等	
	24	介護施設・介護支援事業所・障害者施設等	
	25	その他（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）
	26	連携していない	

問37 (問36の①～③で、「1～25の1つ以上に○を選択」した場合に回答) それらの団体と支援に係る調整を行うため、公式・非公式を問わず会議体や連絡調整の場等を設けましたか。

設置の有無	1 設置した	
	2 設置しなかった	

問38 男女共同参画の視点から、貴自治体職員と応援職員及び民間支援団体との連携状況について教えてください。

① 応援派遣職員と男女共同参画の視点から情報共有を実施できたか(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 民間支援団体と男女共同参画の視点から情報共有を実施できたか(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
③ 応援派遣職員と連携を図り、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できたか(該当する番号1つを選択)	1 十分に連携を図り、実施できた	
	2 ある程度連携を図り、実施できた	
	3 連携を図ることができなかった	
④ 民間支援団体と連携を図り、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できたか(該当する番号1つを選択)	1 十分に連携を図り、実施できた	
	2 ある程度連携を図り、実施できた	
	3 連携を図ることができなかった	

問39 問38の①～④で回答した理由について、考えられている点があれば下記にご記入ください。

円滑に連携できた理由(該当するものすべてに○)

	1 自治体として男女共同参画の視点からの対策の必要性を認識していた		(具体的に記入してください)
	2 調整会議等、課題や対策の情報共有体制が整っていた		
	3 貴自治体職員の、男女共同参画の視点からの対応経験、研修等が十分だった		
	4 応援派遣職員の、男女共同参画の視点からの対応経験、研修等が十分だった		
	5 その他(具体的に記入してください)		
	6 特になし		

連携に難しい面があった/連携していない理由(該当するものすべてに○)

	1 自治体として男女共同参画の視点からの対策の必要性を認識しなかった		(具体的に記入してください)
	2 調整会議等、課題や対策の情報共有体制が整っていなかった		
	3 貴自治体職員の、男女共同参画の視点からの対応経験、研修等が十分でなかった		
	4 応援派遣職員の、男女共同参画の視点からの対応経験、研修等が十分でなかった		
	5 その他(具体的に記入してください)		
	6 特になし		

問40 災害から受ける女性と男性の影響やニーズ等の違いを適確に把握し、きめ細かく対策を講じるには、男女別のデータを収集し、活用することが必須です。
貴自治体では、災害対応を行うにあたり以下の各データを男女別に把握しましたか。（把握したすべての項目に○）

	1	死亡者数（男女別）	
	2	負傷者数（男女別）	
	3	行方不明者数（男女別）	
	4	帰宅困難者数（男女別）	
	5	災害対策本部の男女委員比率	
	6	応援職員の男女比率	
	7	避難所での避難者数（男女別）	
	8	在宅避難者や避難所以外（車中泊等）での避難者数（男女別）	
	9	相談件数と相談内容（男女別）	
	10	避難所の自治的な運営組織に占める役員の男女比率	
	11	性犯罪・性暴力や配偶者等からの暴力（DV）を含む犯罪件数と被害者数（男女別）	
	12	子育て世帯・介護世帯の実態把握（男女別）	
	13	ひとり親家庭の就労状況、経済状況の実態把握	
	14	建設型応急住宅や復興計画等の委員会における男女比率	
	15	復興支援事業の受益者の男女比率	
	16	雇用・労働動向（男女別）	
	17	災害関連死（男女別）	
	18	相談件数と相談内容（男女別）	
	19	その他（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）

問41 （問40で1つ以上「○」を選択しなかった場合に回答）、男女別のデータを把握できなかった（しなかった）理由は何だとお考えですか。（該当するものすべてに○）

	1	平常時にあらかじめ指標を定めていなかった	
	2	人員が不足していた、または職員に余裕がなかった	
	3	男女別にデータを収集することへの必要性を感じなかった	
	4	国、県、他の応援自治体や民間支援団体等からの指摘もなかった	
	5	県や市町村が作成している災害対応マニュアル等に記載されていなかった	
	6	その他	
	7	特になし	

【お願い】貴自治体の取り組みや事例を紹介する説明資料やパンフレット、災害対応の写真、避難所の名簿の様式等がございましたら、調査票とあわせてお送りいただけると幸いです。

※報告書等に掲載する場合は別途ご連絡させていただきます。

アンケートにご回答ありがとうございました。アンケートの成果は今年度実施予定の「報告会」および「報告書」によって共有させていただきます。

調査票記入要領

本調査は、令和6年能登半島地震における災害対応の取組状況を把握することを目的に実施するものです。
単一の部署のみでは回答が難しい質問もございますので、必要に応じて他部署と調整のうえ、ご回答ください。
お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<アンケート調査票の回答の仕方>

- 設問をよく読んで回答してください。
- 薄い黄色のセルが回答欄です。プルダウンから該当する回答を選択してください。

<参考資料>

- 『災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～』（概要） https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_05.pdf

【記入例】※赤字部分は回答の一例です。赤字のように記入してください。

(2) 災害対応に携わる者への支援 【発災後から3月末までの期間】

問5 災害対応に携わる貴自治体職員の状況について、把握している範囲で記入してください。

① 子育てや介護に携わっている職員は、災害対応業務を行いましたか。（該当する番号1つを選択）	1 行った	1	(該当する番号1つを選択)する設問では、プルダウンから該当する番号選択してください。	
	2 行わなかった			
② (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応にあたった職員は、どのようにして育児や介護を行っていましたか。把握している範囲でお答えください。（該当するものすべてに○）	1 保育所や介護施設に預けていた		(該当するものすべてに○)する設問では、該当する選択肢のプルダウンから○を選択してください。	
	2 夫または妻など家族に依頼した	○		
	3 両親や兄弟姉妹、親戚等の親族に依頼した	○		
	4 近隣住民、友人等に依頼した			
	5 避難所での対応に依頼した	○		
	6 こども等と一緒に出勤した			
	7 その他			(具体的に記入してください)
③ (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応業務を行う職員に対し、貴自治体はどのような支援を行いましたか。（該当するものすべてに○）	1 公立保育所等をいち早く再開させた		「その他」を選択した場合には、隣のセルに「（具体的に記入してください）」の文字に上書きする形で、その具体的な内容を記入してください。	
	2 避難所内の一角や庁舎内、事業所の空き部屋等を確保し、託児や介護スペースとして提供した			
	3 こどもやケアが必要な高齢者の一時預かり場所等及び人材を確保した	○		
	4 その他	○		災害対応にあたる職員のレスパイト支援を行った。
	5 特になし			
④ (①で「2. 行わなかった」を選択した場合に回答) 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行わなかった理由は何ですか。（該当するものすべてに○）	1 子育てや介護に携わっている職員がいなかった		(自由記述)の設問では、その内容を具体的に記入してください。	
	2 子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらないよう、あらかじめ取り決めていた			
	3 本人から希望があり、災害対応業務を免除した			
	4 本人からの希望等はなかったが、災害対応の状況等を踏まえて、子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらなくても良いように配慮した			
	5 その他			(具体的に記入してください)
⑤ 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行うにあたり、現在検討中の取組等があれば具体的に教えてください。（自由記述）	庁舎の一角を確保し、託児スペースの設置を検討している。			

<ご回答にあたっての注意事項>

- Excelの列・行は増やしたり、減らしたりしないでください。
- 自由記述等でセルのスペースが足りない場合は、セルの高さを拡大して記述してください。

<提出方法>

調査票（Excel）に回答のうえ、Eメールにて調査会社（danjyo@scraft.co.jp）へお送りください。

<提出期限>

令和6年11月29日（金）までとさせていただきます。

<問い合わせ先>

<調査票の返送先及び問い合わせ先>

株式会社サイエンスクラフト 担当：小田原、竹本
東京都千代田区六番町13-7 中島ビル 2F
TEL：03-6272-4372 FAX：03-6272-4373
Eメール：danjyo@scraft.co.jp

<調査主体>

内閣府 男女共同参画局総務課 担当：藤田、渋谷
電話番号03-5253-2111（代表）内線82352
03-3581-6005（直通）

アンケート調査票②応援職員を派遣した自治体

回答者について				
回答者情報	1人目 ※事務局からの 問合せが発生し た場合には、1 人目に記入され ている方にご連 絡します。	都道府県名		(具体的に記入してください)
		市区町村名		(具体的に記入してください)
		回答者の所属		(具体的に記入してください)
		回答者の氏名		(具体的に記入してください)
		回答者の電話番号		(具体的に記入してください)
		回答者のメールアドレス		(具体的に記入してください)
	2人目	回答者の所属		(具体的に記入してください)
		回答者の氏名		(具体的に記入してください)
回答者の電話番号			(具体的に記入してください)	
回答者のメールアドレス			(具体的に記入してください)	

1. 発災後の対応（発災後から3月末まで）

(1) 派遣職員の体制

問1 発災後から3月末までの期間に、対口支援による応援職員を派遣しましたか。

1 派遣した	
2 派遣しなかった	

問1で「2. 派遣しなかった」を選択した場合は、以上で質問は終了です。調査票を提出してください。

「1. 派遣した」を選択した場合は、問2に進んでください。

ここからの質問は、すべて【発災後から3月末まで】のことについて回答してください。

問2 (問1で「1. 派遣した」を選択した場合に回答) 対口支援による応援職員の派遣体制について教えてください。

① 派遣した職員の数(延べ人数) (人日)	総数			
	男性			
	女性			
	(うち)保健師の数(延べ人数) (人日)			
	総数			
	男性			
	女性			
	(うち)看護師の数(延べ人数) (人日)			
	総数			
	男性			
	女性			
	【自動計算】派遣した職員のうち、保健師や看護師等の保健医療専門職を除いた女性職員 (人数/割合)			女性職員の人数
② どのように被災地への職員派遣を決めましたか。(該当するものすべてに○)	1 職員派遣を行う部署を事前に決めていた(部署名を記入してください)		(具体的に記入してください)	
	2 派遣する職員(候補)を事前に決めていた(候補者リストがある)			
	3 各部署から候補者を推薦してもらった			
	4 自主的に手を挙げた人の中から選定した			
	5 その他(具体的に記入してください)		(具体的に記入してください)	
③ (①で、「派遣した職員のうち、保健師や看護師等の保健医療専門職を除いた女性職員」の割合が1割以上の場合に回答)	1 職員に占める女性職員の割合と比例している			
	2 派遣先に求められている要件に合う職員に女性が多かった			
	3 受援側から女性職員の要請があった			
	4 男女問わず派遣できるよう研修している			
	5 派遣に応募した女性職員が3割以上いた			
	6 育児・介護などの家庭の事情を考慮し、派遣期間を短くした			
	7 女性職員に必要な資機材や、宿泊場所などの環境整備を平時から行っている(又は災害時に行った)			
	8 その他(具体的に記入してください)		(具体的に記入してください)	

④	③で、「派遣した職員のうち、保健師や看護師等の保健医療専門職を除いた女性職員」の割合が1割未満の場合に回答。 女性職員の派遣が1割未満になった理由はなんだとお考えですか。（該当するものすべてに○）	1	防災や災害対応の経験がある女性職員が少ない	
		2	防災や災害対応の研修を受けている女性職員が少ない	
		3	男性職員を中心に派遣するのが自治体の方針であった	
		4	これまでの災害対応と同様に、男性職員を中心に派遣した	
		5	自主的に手を挙げた人の中から選定したが、手を挙げる女性職員が少なかった	
		6	受援側から、女性職員の要請がなかった	
		7	育児や介護等を担っている女性職員が男性と比較して多く、派遣できなかった	
		8	雪道や長距離の運転等、派遣職員の条件に合いにくかった	
		9	派遣先で女性職員に必要な資器材や宿泊場所を確保できなかった	
		10	派遣先での女性職員が活動できる業務がなかった	
		11	その他（具体的に記入してください）	
				（具体的に記入してください）

(2) 活動の概況について

問3 貴自治体の職員を派遣した市町村はどこですか。（該当するものすべてに○）

選択肢：可能性のある県・市町村（災害救助法適用）

新潟県	
新潟市	
長岡市	
三条市	
柏崎市	
加茂市	
見附市	
燕市	
糸魚川市	
妙高市	
五泉市	
上越市	
佐渡市	
南魚沼市	
三島郡出雲崎町	
富山県	
富山市	
高岡市	
氷見市	
滑川市	
黒部市	
砺波市	
小矢部市	
南砺市	
射水市	
中新川郡舟橋村	
中新川郡上市町	
中新川郡立山町	
下新川郡朝日町	
石川県	
金沢市	
七尾市	
小松市	
輪島市	
珠洲市	
加賀市	
羽咋市	
かほく市	
白山市	
能美市	
河北郡津幡町	
河北郡内灘町	
羽咋郡志賀町	
鹿島郡中能登町	
鳳珠郡穴水町	
鳳珠郡能登町	

福井県	
福井市	
あわら市	
坂井市	

問4 派遣先の市町村では、どのような支援活動を行いましたか。（該当するものすべてに○）

1	災害マネジメント支援（災害対策本部への助言・調整等の業務）		
2	避難所運営業務		
3	支援物資にかかる業務		
4	災害廃棄物の処理		
5	住家の被害認定調査、罹災証明書の交付		
6	被災者支援・相談業務		
7	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

(3) 職員派遣に関する対応

問5 災害派遣に関する対応状況について教えてください。

① 災害派遣に関する説明会を実施しましたか。（該当する番号1つを選択）	1	実施した	
	2	実施していない	
② 派遣者用のマニュアル等を作成していますか。（該当する番号1つを選択）	1	作成している	
	2	作成していない	
③ <u>（上記①②いずれかで「1」を選択した場合に回答）</u> 災害派遣に関する説明会や派遣者用のマニュアルの内容に、男女共同参画の視点を踏まえた事項が含まれていましたか。（該当する番号1つを選択）	1	含まれていた	
	2	含まれていなかった	
④ <u>（上記③で「1. 含まれていた」を選択した場合に回答）</u> 男女共同参画の視点を反映できた理由を具体的に教えてください。（自由記述）			（具体的に記入してください）

(4) 女性職員の派遣にあたっての対応

問6 女性職員を被災地へ派遣するにあたり、安全・安心に災害対応業務を行える環境整備等の対策を講じていましたか。（該当する番号1つを選択）

1	講じていた	
2	講じていなかった	

問7 （問6で「1. 講じていた」を選択した場合に回答）どのような対策を講じたか、具体的に教えてください。（自由記述）

（具体的に記入してください）

II. 避難生活への対応

(5) 避難所での活動

問8 （問4で「2. 避難所運営業務」を選択した場合に回答）貴自治体の職員が支援を行った避難所について、その数をご記入ください。（把握している分だけで結構です）

（具体的に記入してください）

問9 （問4で「2. 避難所運営業務」を選択した場合に回答）貴自治体の職員が支援を行った避難所の種類は何ですか。（該当するものすべてに○）

1	指定避難所（一般住民対象）		
2	母子対象（母子、妊産婦、新生児、乳幼児対象）または女性専用避難所		
3	福祉避難所		
4	1.5次避難所		
5	2次避難所（ホテル・旅館・民宿）		
6	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）

問10 (問4で「2. 避難所運営業務」を選択した場合に回答) 貴自治体の職員が支援を行った避難所における、育児、介護、女性等の多様なニーズに対する対応状況について教えてください。(該当するものすべてに○)

① 避難所では、育児、介護、女性等の多様なニーズをどのように把握しましたか。(該当するものすべてに○)	1	避難所の担当職員や避難所の運営体制に女性を配置した	
	2	保育士、介護士、看護師、保健師など専門職員を配置した	
	3	担当を決め、ニーズの聞き取りを行った	
	4	ニーズ調査を行う際に、同性が調査を行うように配慮した	
	5	自衛隊や警察、消防隊等の公的支援者と連携した	
	6	男女共同参画センターと連携した	
	7	女性団体を始めとする市民団体と連携した	
	8	社会福祉協議会と連携した	
	9	ボランティアやNPO等の民間支援団体に依頼した	
	10	民間企業と連携した	
	11	地域の女性リーダーに協力してもらった	
	12	地域の防災士と連携した	
	13	ノウハウを有する応援職員を担当とするようにした	
	14	地元をよく知る市町村職員を担当とするようにした	
	15	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)
	16	特に行っていない	
② (①で「1～15」のいずれかを選択した場合に回答) 育児、介護、女性等の多様なニーズを把握したうえで、どのような対応を行いましたか。具体的に教えてください。(自由記述)			(具体的に記入してください)

問11 能登半島地震発生後に内閣府男女共同参画局が発出した通知やガイドライン等を踏まえた対応状況について教えてください。

(通知例) 男女共同参画の視点からのガイドライン及び避難所チェックシートの活用依頼
https://www.gender.go.jp/policy/saigai/notohanto_jishin.html

① どのように通知を受け取り、ガイドライン等について認識しましたか。(該当する番号1つを選択)	1	国のホームページ	
	2	所属する都道府県・市町村からの情報提供	
	3	派遣先の自治体からの情報提供	
	4	他の応援自治体からの情報提供	
	5	民間支援団体等からの情報提供	
	6	通知は認識していなかったが、以前からガイドラインやチェックシートを認識していた	
	7	通知、ガイドラインやチェックシートについて認識していなかった	
② (①で「1～6」を選択した場合に回答) 通知等を認識したうえで、どのように対応しましたか。(該当するものすべてに○)	1	災害対策本部や関係部署に、その情報を提供した	
	2	避難所運営の担当職員にガイドラインやチェックシートを配布した	
	3	各避難所等にガイドラインやチェックシートを配布・掲示した	
	4	他自治体の応援職員に、その情報を周知した	
	5	その他(具体的に記入してください)	(具体的に記入してください)
	6	特に対応しなかった	

問12 (問4で「2. 避難所運営業務」を選択した場合に回答) 貴自治体が支援した避難所の運営において、男女共同参画の視点を反映させるために行った取組や工夫があれば、具体的に教えてください。

(具体的に記入してください)

問13 (問4で「2. 避難所運営業務」を選択した場合に回答) 貴自治体が支援した避難所で、男女共同参画に関する問題があった場合、その避難所の対象者、特徴、発生した問題等について具体的に教えてください。(分かる範囲で結構です)

(具体的に記入してください)

(6) 避難所以外での活動

問14 在宅避難、車中泊避難、ビニールハウス避難等、避難所運営以外で行った支援で、育児・介護・女性・男性等の多様なニーズに配慮した事例があれば具体的に教えてください。

(具体的に記入してください)

問15 避難所運営以外で行った支援で、男女共同参画の視点から問題や課題が発生したことがあれば、具体的に教えてください。(自由記述)

(具体的に記入してください)

Ⅲ. 被災自治体等との連携

問16 男女共同参画の視点から貴自治体職員と被災自治体職員及び民間支援団体との連携状況について教えてください。

① 被災自治体職員と男女共同参画の視点から情報を共有できたか（該当する番号1つを選択）	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 民間支援団体と男女共同参画の視点から情報を共有できたか（該当する番号1つを選択）	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
③ 被災自治体職員と連携を図り、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できたか（該当する番号1つを選択）	1 十分に連携を図り、実施できた	
	2 ある程度連携を図り、実施できた	
	3 連携を図ることができなかった	
④ 民間支援団体と連携を図り、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できたか（該当する番号1つを選択）	1 十分に連携を図り、実施できた	
	2 ある程度連携を図り、実施できた	
	3 連携を図ることができなかった	

問17 被災自治体職員又は民間支援団体との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。（自由記述）

（具体的に記入してください）

問18 被災自治体職員又は民間支援団体との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。（自由記述）

（具体的に記入してください）

【お願い】 貴自治体の取り組みや事例を紹介する説明資料や活動の写真、災害派遣に関する説明会の資料および派遣者用マニュアル等がございましたら、調査票とあわせてお送りいただけますと幸いです。

※報告書等に掲載する場合は別途ご連絡させていただきます。

アンケートにご回答ありがとうございました。アンケートの成果は今年度実施予定の「報告会」および「報告書」によって共有させていただきます。

調査票記入要領

本調査は、令和6年能登半島地震における災害対応の取組状況を把握することを目的に実施するものです。
単一の部署のみでは回答が難しい質問もございますので、必要に応じて他部署と調整のうえ、ご回答ください。
お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<アンケート調査票の回答の仕方>

- 設問をよく読んで回答してください。
- 薄い黄色のセルが回答欄です。プルダウンから該当する回答を選択してください。

<参考資料>

- 『災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～』 https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_05.pdf
(概要)

【記入例】※赤字部分は回答の一例です。赤字のように記入してください。

(2) 災害対応に携わる者への支援 【発災後から3月末までの期間】

問5 災害対応に携わる貴自治体職員の状況について、把握している範囲で記入してください。

① 子育てや介護に携わっている職員は、災害対応業務を行いましたか。 (該当する番号1つを選択)	1 行った	1	(該当する番号1つを選択)する設問では、プルダウンから該当する番号選択してください。	
	2 行わなかった			
② (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応にあたった職員は、どのようにして育児や介護を行っていましたか。把握している範囲でお答えください。(該当するものすべてに○)	1 保育所や介護施設に預けていた		(該当するものすべてに○)する設問では、該当する選択肢のプルダウンから○を選択してください。	
	2 夫または妻など家族に依頼した	○		
	3 両親や兄弟姉妹、親戚等の親族に依頼した	○		
	4 近隣住民、友人等に依頼した			
	5 避難所での対応に依頼した	○		
	6 こども等と一緒に出勤した			
	7 その他			(具体的に記入してください)
③ (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応業務を行う職員に対し、貴自治体はどのような支援を行いましたか。(該当するものすべてに○)	1 公立保育所等をいち早く再開させた		「その他」を選択した場合には、隣のセルに「(具体的に記入してください)」の文字に上書きする形で、その具体的な内容を記入してください。	
	2 避難所内の一角や庁舎内、事業所の空き部屋等を確保し、託児や介護スペースとして提供した			
	3 こどもやケアが必要な高齢者の一時預かり場所等及び人材を確保した	○		
	4 その他	○		災害対応にあたる職員のレスパイト支援を行った。
	5 特になし			
④ (①で「2. 行わなかった」を選択した場合に回答) 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行わなかった理由は何ですか。(該当するものすべてに○)	1 子育てや介護に携わっている職員がいなかった		(自由記述)の設問では、その内容を具体的に記入してください。	
	2 子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらないよう、あらかじめ取り決めていた			
	3 本人から希望があり、災害対応業務を免除した			
	4 本人からの希望等はなかったが、災害対応の状況等を踏まえて、子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらなくても良いように配慮した			
	5 その他			(具体的に記入してください)
⑤ 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行うにあたり、現在検討中の取組等があれば具体的に教えてください。(自由記述)	庁舎の一角を確保し、託児スペースの設置を検討している。			

<ご回答にあたっての注意事項>

- Excelの列・行は増やしたり、減らしたりしないでください。
- 自由記述等でセルのスペースが足りない場合は、セルの高さを拡大して記述してください。

<提出方法>

調査票(Excel)に回答のうえ、Eメールにて調査会社(danjyo@scraft.co.jp)へお送りください。

<提出期限>

令和6年11月29日(金)までとさせていただきます。

<問い合わせ先>

<調査票の返送先及び問い合わせ先>

株式会社サイエンスクラフト 担当：小田原、竹本
東京都千代田区六番町13-7 中島ビル 2F
TEL：03-6272-4372 FAX：03-6272-4373
Eメール：danjyo@scraft.co.jp

<調査主体>

内閣府 男女共同参画局総務課 担当：藤田、渋谷
電話番号03-5253-2111(代表)内線82352
03-3581-6005(直通)

アンケート調査票③男女共同参画センター

回答者について					
回答者情報	1人目 ※事務局からの 問合せが発生し た場合には、1 人目に記入され ている方にご連 絡します。	施設名			(具体的に記入してください)
		都道府県名			(具体的に記入してください)
		市区町村名			(具体的に記入してください)
		運営形態 (該当する番号 1 つを選択)	1	公設公営	1
		2	公設民営		
		3	民設民営		
		回答者の所属			(具体的に記入してください)
		回答者の氏名			(具体的に記入してください)
		回答者の電話番号			(具体的に記入してください)
		回答者のメールアドレス			(具体的に記入してください)
2人目	回答者の所属			(具体的に記入してください)	
	回答者の氏名			(具体的に記入してください)	
	回答者の電話番号			(具体的に記入してください)	
	回答者のメールアドレス			(具体的に記入してください)	

I. 職員の体制

問1 令和5年12月31日時点の、貴センターの職員体制について教えてください。

① 職員数【常勤】	総数			
	男性		0.0%	
	女性		0.0%	
	うち男女共同参画専任職員数	総数		
		男性		0.0%
		女性		0.0%
	うち男女共同参画兼任職員数	総数		
		男性		0.0%
		女性		0.0%
	② 職員数【非常勤】	総数		
		男性		0.0%
		女性		0.0%
うち男女共同参画専任職員数		総数		
		男性		0.0%
		女性		0.0%
うち男女共同参画兼任職員数	総数			
	男性		0.0%	
	女性		0.0%	

II. 事前の備え

(1) 貴センターが所在する自治体における防災上の位置づけ等 (令和5年中)

問2 発災後の活動に関する事前の計画状況をお聞きます。

① 令和5年12月31日時点において、発災後の男女共同参画センターの役割について、地域防災計画に位置付けられていましたか。(該当する番号1つを選択)	1	位置付けられていた	
	2	位置付けられていなかった	
② 令和5年12月31日時点において、発災後の男女共同参画センターの役割について、貴センターが所在する自治体の避難所運営マニュアルに位置付けられていましたか。(該当する番号1つを選択)	1	位置付けられていた	
	2	位置付けられていなかった	

問3 令和5年1月1日～12月31日時点において、貴センター職員に対する防災研修を実施しましたか。

1	実施した	
2	実施しなかった	

問4 令和5年1月1日～12月31日において、貴センター職員の災害時の対応力向上のため、施設内(センター)で行う防災訓練を実施しましたか。

1	実施した	
2	実施しなかった	

(2) 男女共同参画センターとしての防災に関する取組状況

問5 円滑な災害対応に向け、男女共同参画センターとしてどのような取組を行いましたか。(該当するものすべてに○)

1	地域防災計画及び避難所運営マニュアル等の前回の策定・改定時において、策定・改定過程に参画した		
2	令和5年1月1日～12月31日において、災害対応に関わる職員に対し、「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」に関する研修を実施した		
3	令和5年1月1日～12月31日において、防災・危機管理担当部局等と連携した、「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」に関する研修を実施した		『災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～』 https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html
4	令和5年1月1日～12月31日において、自主防災組織等の女性リーダーを育成した		
5	令和5年1月1日～12月31日において、住民参画型の学習機会の提供や学習資料の作成を行った		
6	令和5年1月1日～12月31日において、地域に対して女性の防災人材の情報を提供した		
7	令和5年1月1日～12月31日において、男女共同参画に関する課題に取り組むNPOやボランティア等の活動を支援した		
8	令和5年1月1日～12月31日において、被災者支援に関する男女別データの収集・分析や、関係部門との共有を行った		
9	その他		
			(具体的に記入してください)

(3) 市民団体等との連携状況

問6 男女共同参画の視点からの防災に関する取組について、貴センターと市民団体等との連携状況を教えてください。(該当するものすべてに○)

1	女性団体を始めとする市民団体等と防災に関する情報共有や勉強会等を行っている		
2	地域で防災活動を行う女性と情報共有や連携を行っている		
3	地域で防災活動を行う多様な主体とのネットワークを構築している		
4	災害時に必要な連携・協働について平常時から体制を構築している		
5	その他(具体的に記入してください)		(具体的に記入してください)
6	特になし		

【被災地内にあるセンターの場合に回答してください】

本調査では、災害救助法適用自治体を被災地と定義します。男女センターが所在する自治体のうち、被災地に該当する自治体は以下の通り。

<該当自治体> (新潟県) 新潟県、新潟市、長岡市、三上市、上越市 (富山県) 富山県、富山市、高岡市 (石川県) 石川県、金沢市、七尾市、加賀市、輪島市 (福井県) 福井県、福井市

※上記以外の自治体に所在する男女センター(被災地外にあるセンター)は、182行目に進んでください。

III. 発災後の対応(発災後から3月末まで)

(4) 発災時及び避難生活の活動【発災後から3月末までの期間】

問7 能登半島地震発生後から3月末までの期間に、貴センターでは、どのような災害に関する活動を行いましたか。(該当するものすべてに○)

1	避難所への職員派遣		
2	貴センターでの避難者の受入れ		
3	物資支援(ニーズ把握、物資の提供等)		
4	関係者間との情報連携(情報提供、呼びかけ等)		
5	広域避難者(市町村を超えて避難した方)への支援		
6	民間支援団体等への支援依頼		
7	災害対策本部や現場に対する男女共同参画の視点からの助言・指摘・要望等		
8	相談対応(相談窓口の設置等)		
9	暴力防止・安全対策(性暴力・DV防止の啓発等)		
10	その他(具体的に記入してください)		(具体的に記入してください)
11	特に活動していない		

問8 （問7で「1～10」を一つ以上選択した場合に回答） 発災時・避難生活に関する活動状況を教えてください。

① 発災時・避難生活に関する活動に至ったきっかけを教えてください。（該当するものすべてに○）	1	地域防災計画や防災マニュアル等に規定してある通りに取り組んだ		
	2	被災自治体から要請があった		
	3	貴センターで活動する団体からの要請があった		
	4	全国女性会館協議会の「大規模災害時における男女共同参画センター相互支援システム」等を通じて情報を入手した		
	5	その他（具体的に記入してください）		
② 貴センターが行った活動の内容について、具体的に教えてください。（自由記述）				（具体的に記入してください）
③ 特に、男女共同参画の視点を反映させるために行った取組や工夫があれば、具体的に教えてください。（自由記述）				（具体的に記入してください）
④ 活動を行っている中で、男女共同参画の視点から問題・課題だと認識したことがあれば、具体的に教えてください。（把握している範囲で結構です）（自由記述）				（具体的に記入してください）
⑤ 活動する中で、貴自治体内のどのような人・団体等と連携しましたか。（該当するものすべてに○）	1	女性団体を始めとする市民団体等		
	2	NPO等民間支援団体		
	3	ボランティア（個人）		
	4	企業		
	5	学生		
	6	その他（具体的に記入してください）		
	7	特になし		

問9 （問7で「11 特に活動していない」を選択した場合に回答） 活動できなかった理由は何だとお考えですか。（該当するものすべてに○）

1	地域防災計画や防災マニュアル等に規定されていなかった		
2	被災自治体から要請がなかった		
3	貴センターで活動する団体からの要請がなかった		
4	全国女性会館協議会の「大規模災害時における男女共同参画センター相互支援システム」等を通じて情報を入手していなかった		
5	災害時に男女共同参画センターとして活動する必要を認識していなかった		
6	その他（具体的に記入してください）		

問10 貴センターの通常業務への影響について教えてください。

① 能登半島地震の発生により、貴センター業務が中断するなど、通常業務への支障がありましたか。（該当する番号1つを選択）	1	影響があった		
	2	影響はなかった		
② <u>（①で「1. 影響があった」を選択した場合に回答）</u> 影響を受けた内容を具体的に教えてください（自由記述）				（具体的に記入してください）

(5) 自治体職員との連携

問11 （問7で「1～10」を一つ以上選択した場合に回答） 男女共同参画の視点から、貴センター職員と連携した被災自治体の職員は、どの部署ですか。

1	男女共同参画担当部署		
2	防災・危機管理担当部署		
3	その他（具体的に記入してください）		
4	連携していない		

問12 (問11で「1～3」を選択した場合に回答) 自治体職員との連携状況を教えてください。

① 連携した自治体職員と、男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 自治体職員と連携を図り、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 十分に連携を図り、実施できた	
	2 ある程度連携を図り、実施できた	
	3 連携を図ることができなかった	
③ 自治体職員との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。		(具体的に記入してください)
④ 自治体職員との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。		(具体的に記入してください)

(6) NPO、企業、大学等、民間支援団体との連携

問13 (問7で「1～10」を一つ以上選択した場合に回答) 男女共同参画の視点から、貴センター職員と民間支援団体との連携状況について教えてください。

① 貴センターが連携したNPO、企業、大学等の民間支援団体と、男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 民間支援団体と連携して男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に連携できた	
	2 連携に難しい面があった	
	3 連携していない	
③ 民間支援団体との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。		(具体的に記入してください)
④ 民間支援団体との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。		(具体的に記入してください)

IV. 復旧・復興への対応

(7) 復旧・復興段階の活動

問14 被災地の復旧・復興に対して、貴センターではどのような活動を行っていますか。（該当するものすべてに○）

1	応急仮設住宅への職員の派遣	
2	復興まちづくりへの関わり	
3	生活再建のための生業や就労の支援	
4	相談対応・心のケア	
5	広域避難者への支援	
6	民間支援団体等への支援依頼	
7	復興対策本部や現場に対する男女共同参画の視点に関する助言・指摘	
8	その他（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）
9	特に活動していない	

問15 （問14で「1～8」を一つ以上選択した場合に回答） 復旧・復興に関する活動状況を教えてください。

① 復旧・復興活動を実施するに至ったきっかけを教えてください。（該当するものすべてに○）	1 地域防災計画や防災マニュアル等に規定してある通りに取り組んだ	
	2 被災自治体から要請があった	
	3 貴センターで活動する団体からの要請があった	
	4 全国女性会館協議会の「大規模災害時における男女共同参画センター相互支援システム」等を通じて情報を入手した	
	5 その他（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）
② 問14で選択した活動の内容について、具体的に教えてください。（自由記述）		（具体的に記入してください）
③ 問14で選択した活動について、特に、男女共同参画の視点を反映させるために行った取組や工夫があれば、具体的に教えてください。（自由記述）		（具体的に記入してください）
④ 活動している中で、男女共同参画の視点から問題・課題だと認識したことがあれば、具体的に教えてください。（把握している範囲で結構です）（自由記述）		（具体的に記入してください）

(8) 自治体職員との連携

問16 （問14で「1～8」を一つ以上選択した場合に回答） 自治体職員との連携状況について教えてください。

① 連携した自治体職員と、男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。（該当する番号1つを選択）	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 自治体職員と連携して男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。（該当する番号1つを選択）	1 概ね円滑に連携できた	
	2 連携に難しい面があった	
	3 連携していない	
③ 自治体職員との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。（自由記述）		（具体的に記入してください）
④ 自治体職員との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。（自由記述）		（具体的に記入してください）

(9) 民間支援団体との連携

問17 （問14で「1～8」を一つ以上選択した場合に回答） 民間支援団体との連携状況について教えてください。

① 連携した民間支援団体と、男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。（該当する番号1つを選択）	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 民間支援団体と連携して男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。（該当する番号1つを選択）	1 概ね円滑に連携できた	
	2 連携に難しい面があった	
	3 連携していない	
③ 民間支援団体との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。（自由記述）		（具体的に記入してください）
④ 民間支援団体との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。（自由記述）		（具体的に記入してください）

V. 総括

問18 男女共同参画の視点からの災害対応についての認識を教えてください。

① 貴センターが所在する自治体において、男女共同参画の視点から、よくできた取組があれば具体的に教えてください。（自由記述）		(具体的に記入してください)
② 貴センターが所在する自治体において、男女共同参画の視点から、実施できなかった取組や、課題があると思われた取組があれば具体的に教えてください。（自由記述）		(具体的に記入してください)

【ここから以降は、被災地外にあるセンターの場合に回答してください】

III. 発災後の対応（発災後から3月末まで）

(4) 発災時及び避難生活の活動【発災後から3月末まで】

問7 貴センターでは、発災後から3月末までの期間に、被災地に対する支援活動を行いましたか。（該当する番号1つを選択）

1 支援を行った	
2 支援を行っていない	

問8 「問7で「1. 支援を行った」を選択した場合に回答してください」支援状況を教えてください。

① どのような支援を行いましたか。（該当するものすべてに○）	1 被災自治体への職員の派遣		
	2 物資支援（ニーズ把握、物資の提供等）		
	3 関係者間との情報連携（情報提供、呼びかけ等）		
	4 広域避難者（市町村を超えて避難した方）への支援		
	5 民間支援団体等への支援依頼		
	6 その他（具体的に記入してください）		(具体的に記入してください)
	7 特に活動していない		
② どのようにして支援を行いましたか。（該当するものすべてに○）	1 自センターが主体となって支援した		
	2 他の団体等が実施している支援に協力した		
	3 その他（該当するものすべてに○）		
③ 支援を行ったきっかけを教えてください。（該当するものすべてに○）	1 地域防災計画や防災マニュアル等に規定してある通りに取り組んだ		
	2 全国女性会館協議会の「大規模災害時における男女共同参画センター相互支援システム」等を通じて情報を入手した		
	3 日頃からつながりのあるネットワーク上で情報を入手した		
	4 その他（具体的に記入してください）		(具体的に記入してください)
④ 実施した支援の内容について、具体的に教えてください。			(具体的に記入してください)
⑤ 特に、男女共同参画の視点を反映させるために行った取組や工夫があれば、具体的に教えてください。（自由記述）			(具体的に記入してください)
⑥ 活動を行っている中で、男女共同参画の視点から問題・課題だと認識したことがあれば、具体的に教えてください。（把握している範囲で結構です）（自由記述）			(具体的に記入してください)
⑦ 活動する中で、どのような人・団体等と連携しましたか。（該当するものすべてに○）	1 他の男女共同参画センター		
	2 女性団体を始めとする市民団体等		
	3 NPO等		
	4 ボランティア		
	5 学生		
	6 その他（具体的に記入してください）		(具体的に記入してください)
	7 特になし		

(5) 被災地の男女共同参画センターとの連携【発災後から3月末まで】

問9 被災自治体の男女共同参画センター職員との連携状況について教えてください。

① 男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。 (該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に連携できた	
	2 連携に難しい面があった	
	3 連携していない	
③ 被災自治体の男女共同参画センター職員との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。(自由記述)		(具体的に記入してください)
④ 被災自治体の男女共同参画センター職員との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。(自由記述)		(具体的に記入してください)

(6) 民間支援団体との連携【発災後から3月末まで】

問10 民間支援団体との連携状況について教えてください。

① 民間支援団体(NPO法人、市民団体、企業、大学等)と、男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 概ね円滑に情報共有できた	
	2 情報共有に難しい面があった	
	3 情報共有していない	
② 民間支援団体と連携を図り、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。(該当する番号1つを選択)	1 十分に連携を図り、実施できた	
	2 ある程度連携を図り、実施できた	
	3 連携を図ることができなかった	
③ 民間支援団体との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。(自由記述)		(具体的に記入してください)
④ 民間支援団体との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。(自由記述)		(具体的に記入してください)

調査票記入要領

本調査は、令和6年能登半島地震における災害対応の取組状況を把握することを目的に実施するものです。
単一の部署のみでは回答が難しい質問もございますので、必要に応じて他部署と調整のうえ、ご回答ください。
お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<アンケート調査票の回答の仕方>

- 設問をよく読んで回答してください。
- 薄い黄色のセルが回答欄です。プルダウンから該当する回答を選択してください。

<参考資料>

- 『災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～』 https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guideline_05.pdf
(概要)

【記入例】※赤字部分は回答の一例です。赤字のように記入してください。

(2) 災害対応に携わる者への支援 【発災後から3月末までの期間】

問5 災害対応に携わる貴自治体職員の状況について、把握している範囲で記入してください。

① 子育てや介護に携わっている職員は、災害対応業務を行いましたか。 (該当する番号1つを選択)	1 行った	1	(該当する番号1つを選択)する設問では、プルダウンから該当する番号選択してください。	
	2 行わなかった			
② (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応にあたった職員は、どのようにして育児や介護を行っていましたか。把握している範囲でお答えください。(該当するものすべてに○)	1 保育所や介護施設に預けていた		(該当するものすべてに○)する設問では、該当する選択肢のプルダウンから○を選択してください。	
	2 夫または妻など家族に依頼した	○		
	3 両親や兄弟姉妹、親戚等の親族に依頼した	○		
	4 近隣住民、友人等に依頼した			
	5 避難所での対応に依頼した	○		
	6 こども等と一緒に出勤した			
	7 その他			(具体的に記入してください)
③ (①で「1. 行った」を選択した場合に回答) 災害対応業務を行う職員に対し、貴自治体はどのような支援を行いましたか。(該当するものすべてに○)	1 公立保育所等をいち早く再開させた		「その他」を選択した場合には、隣のセルに「(具体的に記入してください)」の文字に上書きする形で、その具体的な内容を記入してください。	
	2 避難所内の一角や庁舎内、事業所の空き部屋等を確保し、託児や介護スペースとして提供した			
	3 こどもやケアが必要な高齢者の一時預かり場所等及び人材を確保した	○		
	4 その他	○		災害対応にあたる職員のレスパイト支援を行った。
	5 特になし			
④ (①で「2. 行わなかった」を選択した場合に回答) 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行わなかった理由は何ですか。(該当するものすべてに○)	1 子育てや介護に携わっている職員がいなかった		(自由記述)の設問では、その内容を具体的に記入してください。	
	2 子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらないよう、あらかじめ取り決めていた			
	3 本人から希望があり、災害対応業務を免除した			
	4 本人からの希望等はなかったが、災害対応の状況等を踏まえて、子育てや介護に携わっている職員は災害対応業務に携わらなくても良いように配慮した			
	5 その他			(具体的に記入してください)
⑤ 子育てや介護に携わっている職員が災害対応業務を行うにあたり、現在検討中の取組等があれば具体的に教えてください。(自由記述)	庁舎の一角を確保し、託児スペースの設置を検討している。			

<ご回答にあたっての注意事項>

- Excelの列・行は増やしたり、減らしたりしないでください。
- 自由記述等でセルのスペースが足りない場合は、セルの高さを拡大して記述してください。

<提出方法>

調査票(Excel)に回答のうえ、Eメールにて調査会社(danjiyo@scraft.co.jp)へお送りください。

<提出期限>

令和6年11月29日(金)までとさせていただきます。

<問い合わせ先>

<調査票の返送先及び問い合わせ先>

株式会社サイエンスクラフト 担当：小田原、竹本
東京都千代田区六番町13-7 中島ビル 2F
TEL：03-6272-4372 FAX：03-6272-4373
Eメール：danjiyo@scraft.co.jp

<調査主体>

内閣府 男女共同参画局総務課 担当：藤田、渋谷
電話番号03-5253-2111(代表)内線82352
03-3581-6005(直通)

アンケート調査票④災害支援民間団体

回答者について					
回答者情報	1人目 ※事務局からの問合せが発生した場合には、1人目に記入されている方にご連絡します。	団体種別（該当する番号1つを選択）	1 NPO法人		
			2 社会福祉法人		
			3 公益社団・公益財団法人		
			4 一般社団・一般財団法人		
			5 医療法人		
			6 学校法人		
			7 宗教法人		
			8 営利法人		
			9 任意団体		
			10 その他（具体的に記入してください）		
					（具体的に記入してください）
	2人目	団体名		（具体的に記入してください）	
		回答者の所属		（具体的に記入してください）	
		回答者の氏名		（具体的に記入してください）	
		回答者の電話番号		（具体的に記入してください）	
		回答者のメールアドレス		（具体的に記入してください）	
		回答者の所属		（具体的に記入してください）	
		回答者の氏名		（具体的に記入してください）	
		回答者の電話番号		（具体的に記入してください）	
	回答者のメールアドレス		（具体的に記入してください）		
I. 普段の活動状況					
問1 令和5年12月31日時点の貴団体の体制について教えてください。					
① 職員数【常勤】	総数		0.0%		
	男性				
	女性				
	② 職員数【非常勤】（実人数）	総数			0.0%
		男性			
		女性			
	③ ボランティア等の人数（登録人数）	総数			0.0%
		男性			
		女性			
(1) 普段の活動内容					
問2 貴団体が普段行っている活動内容（分野）について教えてください。（該当するものすべてに○）					
1	女性や子どものエンパワーメントなどの男女共同参画に関する活動				
	2 社会福祉				
	3 障がい者を対象とした活動				
	4 介護予防や介護サービスに関係した活動				
	5 健康や医療サービスに関係した活動				
	6 教育活動				
	7 宗教活動				
	8 自然や環境を守るための活動				
	9 国際交流・国際協力に関する活動				
	10 多文化共生に関する活動				
	11 安全な生活のための活動				
	12 防災・被災者支援に関係した活動				
	13 まちづくりのための活動				
	14 スポーツ・文化・芸術に関係した活動				
	15 乳幼児・児童・青少年等の健全育成を対象とした活動				
	16 NPO等の中間支援組織				
	17 その他（具体的に記入してください）			（具体的に記入してください）	

(2) 男女共同参画の視点の認識

問3 防災・復興に際して男女共同参画の視点が重要とされていますが、貴団体の事業全体の実質的な責任者の男女共同参画の視点の重要性に対する認識について教えてください。

① 貴団体は、男女共同参画の視点の重要性を認識していますか。（該当する番号1つを選択）	1 認識している	
	2 認識していない	
② <u>（①で「1. 認識している」を選択した場合に回答）</u> どのようにして男女共同参画の視点の重要性を認識されましたか。（該当するものすべてに○）	1 東日本大震災や熊本地震等の過去の災害経験の際に知った	
	2 東日本大震災や熊本地震等の後に研修やシンポジウム等各種の情報に接して知った	
	3 石川県の災害ボランティア団体のネットワークの中で知った	
	4 JVOAD等の中間支援団体からの情報共有で知った	
	5 能登半島地震の被災地に支援に行き知った（3.を除く）	
	6 内閣府のホームページで知った（下記（参考）参照）	
	7 報道やインターネット等で知った	
	8 スフィア・プロジェクト等、国際的な人道支援の基準を通して知った	
	9 その他（具体的に記入してください）	

問4 平常時の男女共同参画の取組について教えてください。

① 貴団体では、男女共同参画の視点を踏まえた防災に関する取組を行っていますか。（該当する番号1つを選択）	1 取り組んでいる	
	2 取り組んでいない	
② <u>（①で「1. 取り組んでいる」と回答した場合に回答）</u> どのような取組を行っていますか。具体的に教えてください。（自由記述）		
	（具体的に記入してください）	

II. 発災後の活動（1月1日～3月末）

(3) 活動の体制【発災後から3月末までの期間】

問5 活動体制について教えてください。

① 被災地で活動した職員（有給）の延べ人数（人日）	総数		割合
	男性		0.0%
	女性		0.0%
② 被災地で活動したボランティア等（無給）の延べ人数（人日）	総数		
	男性		0.0%
	女性		0.0%

問6 （問5①で女性が半数以上だった場合に回答）被災地で活動した職員の女性が半数以上になった理由は何だとお考えですか。（該当するすべてに○）

1	災害担当者の中に女性職員がいた		
2	被災地から女性職員の派遣要請があった		
3	被災地の状況から女性職員を派遣する必要性があった		
4	平時から、男女問わず被災現場に派遣できるよう研修している		
5	男女両方の視点から支援が可能となるよう、あえて男女両方の職員を現地に派遣するようにした		
6	災害担当者ではないが、過去の災害で現場経験のある女性職員を（も）派遣した		
7	職員の都合により、たまたま女性職員を（も）派遣した		
8	派遣職員を公募した結果、女性を採用し現地に派遣した		
9	派遣先に求められている要件に合う職員が女性だった		
10	育児・介護などの家庭の事情を考慮し、派遣期間を短くしている		
11	派遣職員の男女比は、職員の男女比とほぼ同じである		
12	女性職員の派遣に際して、必要な資機材、環境整備を行っていた（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
13	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
14	分からない		

問7 （問5①で女性が半数以下だった場合に回答）被災地で活動した職員の女性が半数以下になった理由は何だとお考えですか。（該当するすべてに○）

1	防災や災害対応の経験がある女性職員がいない・少なかった		
2	男性職員を中心に派遣するのが団体としての方針であった		
3	被災地から男性職員の派遣要請があった		
4	派遣職員は原則自主的に手を挙げた人の中から選定していたが、手を挙げる女性職員がいない・少なかった		
5	育児や介護等を担っている職員が男性と比較して多く、女性職員を派遣できなかった		
6	女性職員の派遣に際して、必要な資機材、環境整備を行うことが難しかった		
7	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
8	分からない		

問8 （問5②の被災地で活動したボランティア等（無給）が一人以上いる場合、かつ女性が半数以上だった場合に回答）ボランティア等（無給）の女性が半数以上になった理由は何だとお考えですか。（該当するすべてに○）

1	女性を中心にボランティアを募集した		
2	派遣先に求められている要件に合うボランティアに女性が多かった		
3	被災地の状況から、女性ボランティアの派遣の必要性があった		
4	男女両方のボランティアがバランスよく派遣されるよう努力した		
5	女性ボランティアの派遣に際して、必要な資機材、環境整備を行っていた（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
6	その他（具体的に記入してください）		（具体的に記入してください）
7	分からない		

問9 （問5②の被災地で活動したボランティア等（無給）が一人以上いる場合、かつ女性が半数以下だった場合に回答） ボランティア等（無給）の女性が半数以下になった理由はなんだとお考えですか。（該当するすべてに○）

1	男性を中心にボランティアを募集した	
2	派遣先に求められている要件に合うボランティアに男性が多かった	
3	被災地の状況から、男性ボランティアの派遣の必要性があった	
4	女性ボランティアの派遣に際して、必要な資機材、環境整備を行うことが難しかった	
5	男女両方のボランティアがバランスよく派遣されるよう努力した	
6	その他（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）
7	分からない	

（4）活動の概況【発災後から3月末までの期間】

問10 職員やボランティアが活動した県・市町村はどこですか。（該当するものすべてに○）

選択肢：県・市町村（救助法適用）

新潟県	
新潟市	
長岡市	
三条市	
柏崎市	
加茂市	
見附市	
燕市	
糸魚川市	
妙高市	
五泉市	
上越市	
佐渡市	
南魚沼市	
三島郡出雲崎町	
富山県	
富山市	
高岡市	
氷見市	
滑川市	
黒部市	
砺波市	
小矢部市	
南砺市	
射水市	
中新川郡舟橋村	
中新川郡上市町	
中新川郡立山町	
下新川郡朝日町	

石川県	
金沢市	
七尾市	
小松市	
輪島市	
珠洲市	
加賀市	
羽咋市	
かほく市	
白山市	
能美市	
河北郡津幡町	
河北郡内灘町	
羽咋郡志賀町	
鹿島郡中能登町	
鳳珠郡穴水町	
鳳珠郡能登町	
福井県	
福井市	
あわら市	
坂井市	

問10で回答した貴団体が支援に入った県・市町村とは、事前に協定を締結していましたか。（該当する番号1つを選択）（1団体でも協定を締結していれば「1. 協定を締結していた（1団体以上）」）

1 協定を締結していた（1団体以上）	
2 協定を締結していなかった	

問12 派遣先の県・市町村では、どのような支援活動を行いましたか。（該当するものすべてに○）

1	被災家屋（土砂・廃棄物撤去、床下・課壁・屋根、貴重品・写真等の保護等）	
2	避難所（運営・環境整備、物資・炊き出し、サロン、ジェンダー的配慮、ペット等）	
3	在宅・車中泊等（実態把握、物資・食事等、相談・制度説明等）	
4	応急仮設住宅（物資、コミュニティ形成等）	
5	生業（土砂等の撤去、物資等）	
6	障がい者・高齢者（相談窓口、資金支援、施設への支援等）	
7	こども（居場所づくり、学習支援、心理的ケア等）	
8	女性・ジェンダー（物資、避難所などの安全・安心、こどもの一時預かり、相談支援等）	
9	外国人（多言語サービス等）	
12	その他（具体的に記入してください）	（具体的に記入してください）

(5) 活動にあたっての対応【発災後から3月末までの期間】

問13 職員やボランティア等が被災地で活動するにあたり、貴団体の対応状況について教えてください。

① 被災地に派遣する職員に対し、活動に関する説明会を実施しましたか。（該当する番号1つを選択）	1 実施した	
	2 実施していない	
② 被災地に派遣するボランティアに対し、活動に関する説明会を実施しましたか。（該当する番号1つを選択）	1 実施した	
	2 実施していない	
③ 職員向けに、派遣者用のマニュアル等を作成していますか。（該当する番号1つを選択）	1 作成している	
	2 作成していない	
④ ボランティア向けに、派遣者用のマニュアル等を作成していますか。（該当する番号1つを選択）	1 作成している	
	2 作成していない	
⑤ <u>（上記①から④のいずれかで「1」を選択した場合に回答）</u> 災害派遣に関する説明会や派遣者用のマニュアルの内容に、男女共同参画の視点を踏まえた事項が含まれていましたか。（該当する番号1つを選択）	1 含まれていた	
	2 含まれていなかった	
⑥ <u>（⑤で「1、含まれていた」を選択した場合に回答）</u> 男女共同参画の視点を踏まえた事項を反映させるための工夫等の内容を具体的に教えてください。（自由記述）	(具体的に記入してください)	

問14 被災地での活動する中で得られた被災地の情報（被災地のニーズ、通行できる道路など活動上有効な情報等）をどのように入手していましたか。

1 JVOAD等中間支援団体を通じて情報を入手した	
2 他の団体のブログやHPから情報を入手した	
3 災害ボランティアセンターから情報を入手した	
4 被災自治体から直接情報を入手した	
5 活動場所において情報を入手した	
6 その他（具体的に記入してください）	(具体的に記入してください)

問15 被災地での活動する中で得られた被災地の情報（被災地のニーズ、通行できる道路など活動上有効な情報等）をどのように発信していましたか。

1 JVOAD等中間支援団体を通じて情報を発信した	
2 団体のブログやHPで情報を発信した	
3 災害ボランティアセンターを通じて情報を発信した	
4 被災自治体に直接情報を発信した	
5 活動場所において情報を発信した	
6 その他（具体的に記入してください）	(具体的に記入してください)

III. 避難生活への対応

(6) 避難所等での活動

問16 (問12で「2. 避難所」を選択した場合に回答) 支援に入った避難所について教えてください。

① 貴団体が支援に入った避難所の種類についてご記入ください (該当するものすべてに○)	1	指定避難所 (一般住民対象) (※のちに指定避難所に指定された避難所も含む)		
	2	母子対象 (母子、妊産婦、新生児、乳幼児対象) または女性専用避難所		
	3	福祉避難所		
	4	1.5次避難所		
	5	2次避難所 (ホテル・旅館・民宿)		
	6	その他 (具体的に記入してください)		(具体的に記入してください)
② 貴団体が支援に入った避難所では、育児、介護、女性等の多様なニーズをどのように把握していましたか。(該当するものすべてに○)	1	避難所の担当職員や避難所の運営体制に女性を配置した		
	2	保育士、介護士、看護師、保健師など専門職員を配置した		
	3	担当を決め、ニーズの聞き取りを行った		
	4	ニーズ調査を行う際に、同性が調査を行うように配慮した		
	5	ノウハウを有する派遣職員を担当とするようにした		
	6	その他 (具体的に記入してください)		
	7	特に行ってない		
③ (②で「1～6」のいずれかを選択した場合に回答)				(具体的に記入してください)
④ 貴団体が支援に入った避難所で、男女共同参画の視点を考慮した取組や工夫があれば、具体的に教えてください。(自由記述)				(具体的に記入してください)
⑤ 貴団体が支援に入った避難所で、男女共同参画に関する問題があった場合、その避難所の対象者、特徴、発生した問題等について具体的に教えてください。(分ける範囲で結構です)				(具体的に記入してください)

(7) 避難所以外での活動

問17 在宅避難、車中泊避難、ビニールハウス避難等、避難所運営以外で行った支援で、育児・介護・女性・男性等の多様なニーズに配慮した事例があれば具体的に教えてください。

(具体的に記入してください)

問18 避難所運営以外で行った支援で、男女共同参画の視点から問題・課題だと認識したことがあれば、具体的に教えてください。(把握している範囲で結構です) (自由記述)

(具体的に記入してください)

(8) 被災自治体との連携

問19 男女共同参画の視点から、被災自治体職員との連携状況について教えてください。

① 男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。(該当する番号1つを選択)	1	概ね円滑に情報共有できた	
	2	情報共有に難しい面があった	
	3	情報共有していない	
② 男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。(該当する番号1つを選択)	1	概ね円滑に連携できた	
	2	連携に難しい面があった	
	3	連携していない	
③ 被災自治体職員との連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。(自由記述)			(具体的に記入してください)
④ 被災自治体職員との連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。(自由記述)			(具体的に記入してください)

(9) 災害ボランティアセンターとの連携

問20 男女共同参画の視点から、災害ボランティアセンターとの連携状況について教えてください。

① 災害ボランティアセンターと、男女共同参画の視点から情報を共有できましたか。(該当する番号1つを選択)	1	概ね円滑に情報共有できた	
	2	情報共有に難しい面があった	
	3	情報共有していない	
② 災害ボランティアセンターと連携して、男女共同参画の視点から被災者支援等を実施できましたか。(該当する番号1つを選択)	1	概ね円滑に連携できた	
	2	連携に難しい面があった	
	3	連携していない	
③ 災害ボランティアセンターとの連携において、良かった点があれば具体的に教えてください。(自由記述)			(具体的に記入してください)
④ 災害ボランティアセンターとの連携において、どのようなことが課題とお考えになりましたか。具体的に教えてください。(自由記述)			(具体的に記入してください)